

## 日本放射線技術学会九州支部 令和5年度第2回放射線防護・計測セミナー

### テーマ：『原子力災害医療における診療放射線技師のあり方』

日時：令和6年1月27日（土）13時00分～15時30分

場所：Web配信（Zoom）（定員200名）

参加申込：RacNe [https://service.jsrt.or.jp/index.cgi?t=user\\_login&from=jsrt](https://service.jsrt.or.jp/index.cgi?t=user_login&from=jsrt)

参加費：500円（会員）、1,000円（非会員）

目的：福島第一原発事故のような大規模原子力災害を踏まえ、災害対応には多くの医療従事者に対してすそ野を広げた人材の育成が求められます。その中でも診療放射線技師は日常業務で放射線を取り扱う専門家として、万が一の原子力災害時における住民の放射線防護の中心的な存在となりえます。そこで本セミナーでは、原子力災害において診療放射線技師として果たすべき役割について学び、そのために何が必要か議論いたします。

#### プログラム

#### 司会進行

長崎大学病院 岩竹 聡

13:00 開会挨拶

九州大学 藤淵 俊王

13:05 基調講演 「原子力災害(医療)について」

長崎大学病院 医療技術部 奥野 浩二 先生

14:05 基調講演 「原子力災害医療において診療放射線技師にできること」

福島県公立岩瀬病院 診療放射線科 真船 浩一 先生

15:05 総合討論

15:20 閉会挨拶

九州大学 藤淵 俊王

問合せ先：長崎大学病院 医療技術部 岩竹 聡

mail：iwatakes@nagasaki-u.ac.jp